



## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

### 8月の概要

#### <インフルエンザ>

第33週(8/10～8/16)の定点当たり患者数は2.52となり、保健所管内別では大津市および草津で多くなっていました。また、定点当たり患者数が流行開始の目安である1.00を超えたため流行シーズン入りとなりました。なお、全国における流行シーズン入りは第34週(8/17～8/23)でした。

新型インフルエンザ発生の把握方法は、7月24日以降、患者の全数把握からクラスター(集団発生)把握に変更となりました。7月24日から8月30日における保健所管内別の発生状況は下記のグラフのとおりです。

#### <小児科定点疾患>

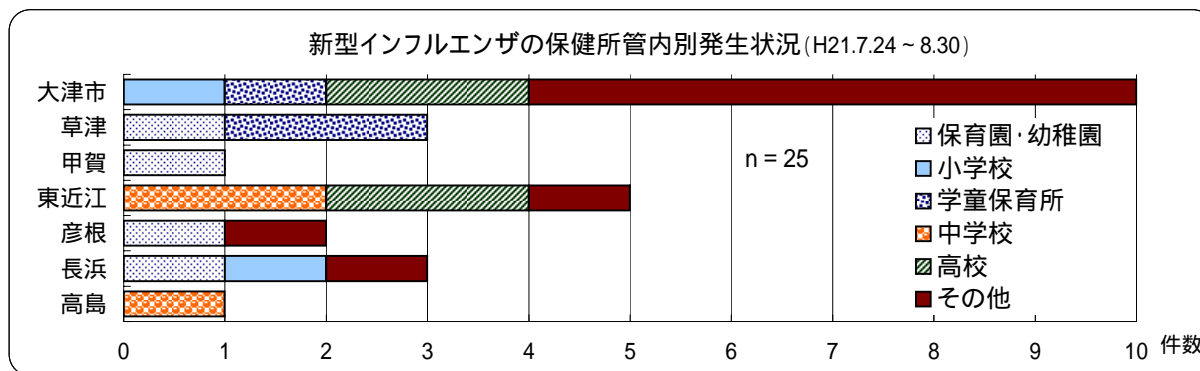
先月より微増を示した疾患はRSウイルス感染症のみで、他の疾患については全て減少していました(疾患の発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。手足口病については第32週(8/3～8/9)に甲賀で、第32～35週(8/3～8/30)に高島で警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えていました。また、ヘルパンギーナについては、高島で第32～35週の間、連続して警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えていました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月よりかなり減少し、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患ではクラミジア肺炎以外で先月より増加していました。細菌性髄膜炎は東近江から、無菌性髄膜炎は長浜から、マイコプラズマ肺炎は甲賀および長浜からの報告が多くなっていました。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

### クラスターサーベイランスにおける新型インフルエンザの発生状況(平成21年7.24～8.30、滋賀県)

#### <各定点の対象疾患>



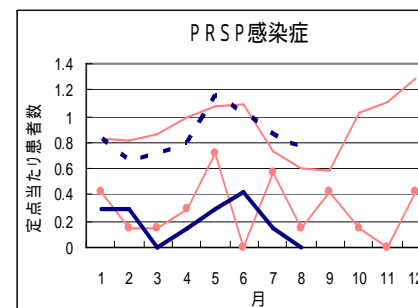
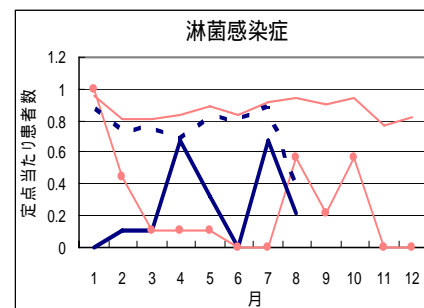
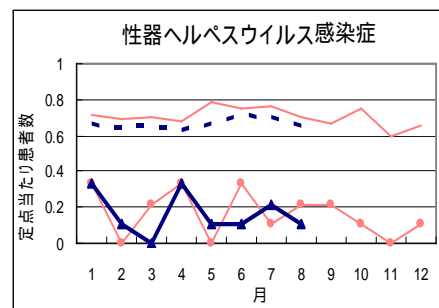
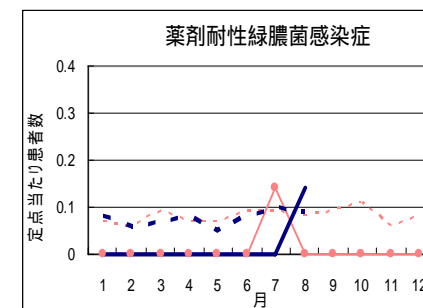
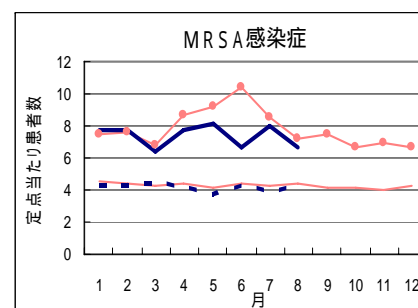
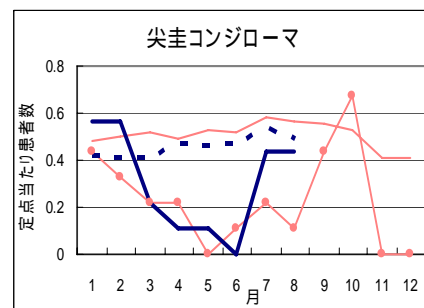
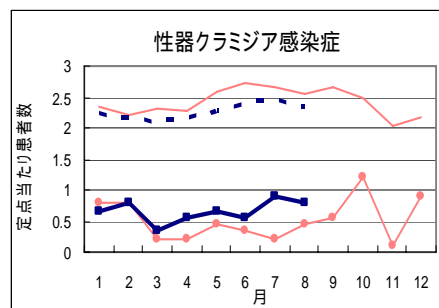
保健所管内別のクラスター(集団発生)の発生件数は、大津市で最も多く、次いで東近江となっています。集団の属性で「その他」には、大学、塾およびスポーツクラブを含みます。

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 21年 8月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7	3	5	6	5	8	7					47
	定点当たり	0.67	0.78	0.33	0.56	0.67	0.56	0.89	0.78					5.24
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	3	1	1	2	1					12
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.33	0.11	0.11	0.22	0.11					1.32
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5	2	1	1	0	4	4					22
	定点当たり	0.56	0.56	0.22	0.11	0.11	0	0.44	0.44					2.44
淋菌感染症	罹患数	0	1	1	6	3	0	6	2					19
	定点当たり	0	0.11	0.11	0.67	0.33	0	0.67	0.22					2.11
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54	45	54	57	47	56	47					414
	定点当たり	7.71	7.71	6.43	7.71	8.14	6.71	8.00	6.71					59.12
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2	0	1	2	3	1	0					11
	定点当たり	0.29	0.29	0	0.14	0.29	0.43	0.14	0					1.58
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	1					1
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0.14					0.14



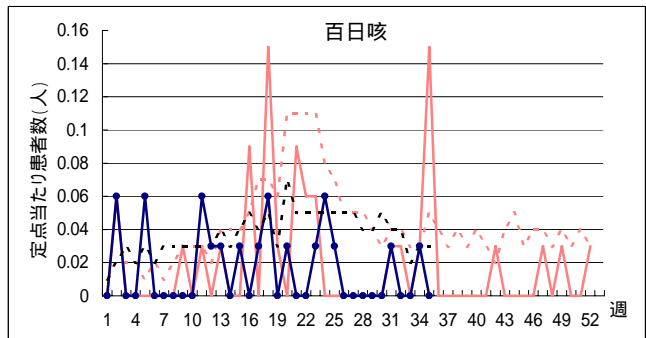
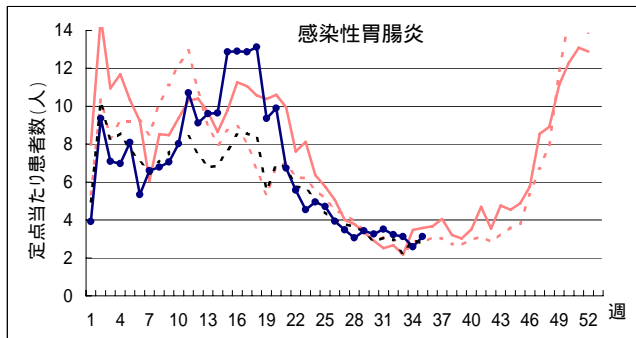
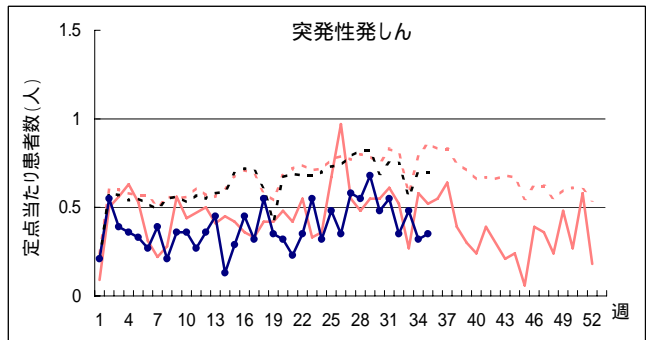
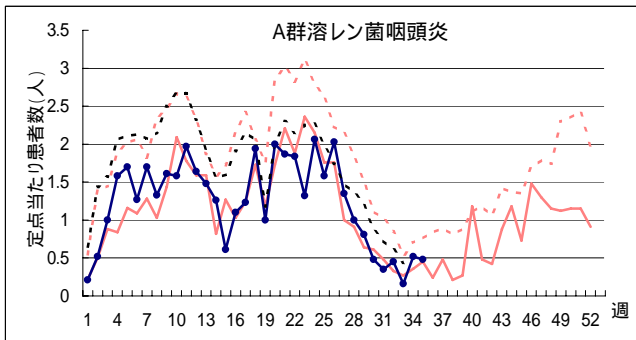
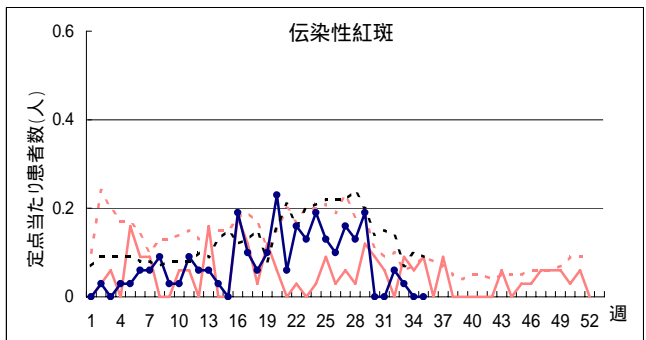
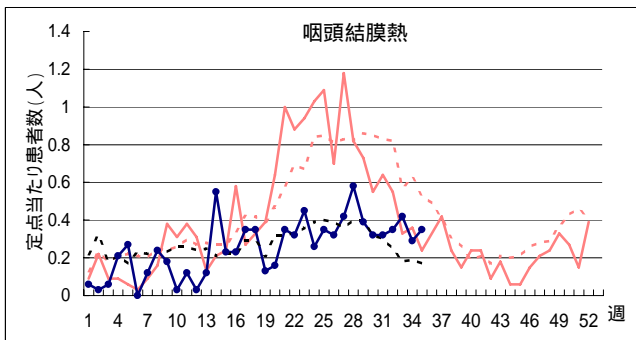
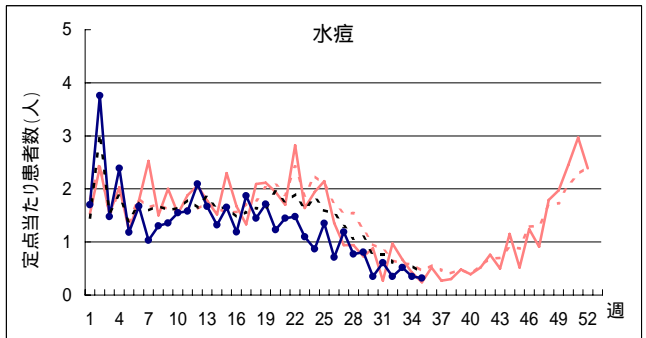
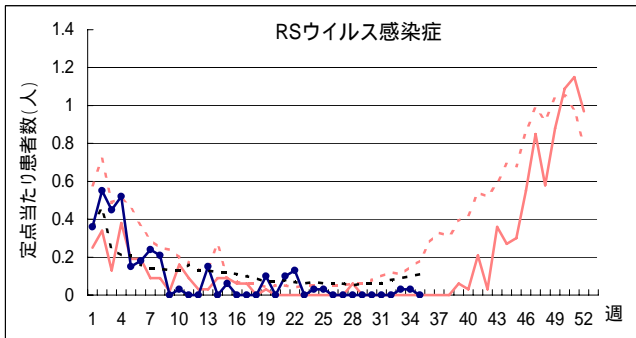
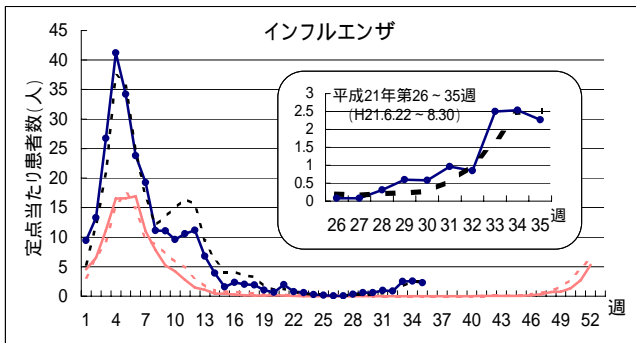
H20 { 滋賀 (赤丸) 全国 (赤線)  
 H21 { 滋賀 (青丸) 全国 (青線)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

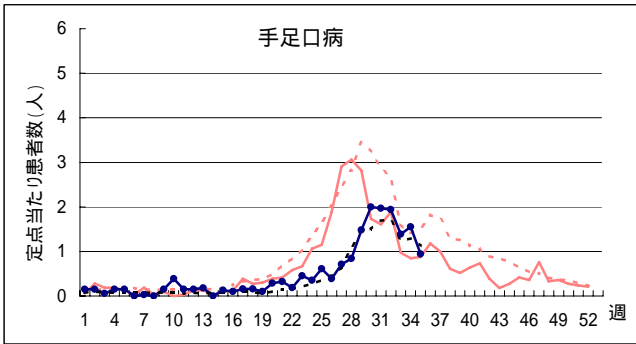
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると薬剤耐性緑膿菌感染症は増加し、尖圭コンジローマは横ばいとなっていますが、他の疾患については減少しています。特に、淋菌感染症では先週よりかなり少なくなっています。



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~35週、H20.12.29~H21.8.30)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～35週、H20.12.29～H21.8.30)



H20 { 滋賀 ————  
       全国 ······  
 H21 { 滋賀 ————  
       全国 ······

